

サイトワールド 2009 参加報告

秋山城治

サイトワールド 2009 は、2009 年 11 月 1 日～3 日にすみだ産業会館サンライズホールで開催された。サイトワールドは、各企業、研究所など様々な団体が最先端の技術・機器、日用品等の展示をし、さらに講演会、フォーラム、体験会、音楽会等が開催される視覚障害者のための総合イベントである。サイトワールドは年に 1 回開催され、今年で 4 回目の開催であった。参加したのは 1 日、2 日である。1 日目の来場者数は 1600 人、2 日目は 1650 人であった。自分の参加した講演会は「視覚障害者 GPS 歩行システムセミナー」、「携帯と IC タグの組み合わせデモ」の 2 つである。

「視覚障害者 GPS 歩行システムセミナー」は石川准(静岡県立大学 国際関係学部教授)が講演を行った。参加者は講演者、関係者も含めて約 50 人であった。今年 8 月に製品化した視覚障害者向け GPS 歩行支援システムの紹介を行った。機能としては GPS 計測情報による位置検索や周辺施設の情報検索、目的地までのルートを案内する「歩行ナビ」、地図から道路情報やルート検索が可能な「仮想ナビ」がある。今回は室内ということなので「仮想ナビ」のデモが行われた。GPS の位置情報は誤差が発生するので、初めての場所では使わないでほしいと言っていた。使用方法としては 1 回歩いた道で完全には覚えられないときに使うのが良いらしい。GPS の位置情報の誤差の克服には信号機などに IC チップを埋め込んで、位置情報を発信するなどのロ

ーカルインフラで位置を補正できるものが必要だと言っていた。来年の課題として 4 点挙げられた。1 つは今の基本情報は車情報(ただし、有料道路には入れないようにし、一通などの車特有のルールは取り払ってある)なので歩行支援 DB (歩道の区別があるなど)に切り替えること。2 つ目は電子コンパスを取り入れること。(iPhone を持っていれば併用可能にする) 3 つ目は電話番号から施設検索が可能になること。4 つ目は更新を年に 1 回すること。質問も多く、視覚障害者が興味を持っていた。

「携帯と IC タグの組み合わせデモ」は古矢利夫(ことばの道案内代表者)が講演を行った。参加者は講演者、関係者を含めて 12 人であった。初めに、ことばの道案内の説明をし、ウォーキングナビをドコモのらくらくフォンで実際に音声で聞いてみた。次に新開発の携帯と IC タグによるデモをした。デモは部屋の 3 か所に IC タグを取り付け、実際に視覚障害者 4 人が携帯電話を持ちながら歩いた。この際デモで使うウォーキングナビも用意されていた。ウォーキングナビで「この先チェックポイントがあります」と音声で知らせ、IC タグの近くに行くと「ピンポン、チェックポイントです」と鳴り、現在位置の把握ができるようになる。しかしデモでは IC タグが反応しないことが多々あった。3 か所すべての IC タグに反応した人は 1 人だった。反応した人も 1m 離れたところで反応したり、ちょうど良い距離で反応したりとさまざまであった。今

後の課題は2つあり、1つはICタグを道に埋め込めるように自治体と話し合いをすること。2つ目は docomo のらくらくフォンにICタグリーダーを取り付けてもらうように話し合いをすることだそうだ。この2つが解決すれば実用化されるということです。実用化されれば歩行の際の安全性向上が期待できそうだ。

展示会では、音声標識ガイドシステムがありました。小型の受発信機（シグナルエイド(図1))を持って情報エリアに入ると、「ピッピッピッ」と反応し、ボタンを押すとスピーカーから情報が受けられるというシステムだ。スピーカーは駅の構内、公共施設などに取り付けられている。他にも小型送信機からの電波を受信し、歩行者用青色点灯時間を通常より長くする感応信号機システムなどにも使われている。新潟市にも数箇所あるそうなので気をつけながら見ようと思う。



図1 シグナルエイドⅡ

次回のサイトワールドは2010年11月1日～3日にすみだ産業会館サンライズホールで開催される予定である。